

## 環境白書の刊行にあたって



私たちは今、大気や水、廃棄物といった従来の環境問題に加えて、地球温暖化や生物多様性の損失といった地球規模の環境問題に対しても積極的に取り組むことが求められています。

こうした地球規模の環境問題は、社会の様々な分野の事業活動や一人一人の日々の暮らしと密接に関連した問題でもあり、その解決には、行政だけでなく事業者や県民が、事業活動や日々の暮らしの在り方を環境に配慮した方向へ変えていく努力が大切です。

そのため、県では、県民、事業者、行政等の各主体が「協働」して、環境への負荷の少ない「循環」を基調とした持続可能な社会、そして自然と人との「共生」する社会を構築することを目指し、様々な取組を行っています。

地球温暖化の防止については、私たちの暮らしに密接に関連した問題であり、日々の地道な取組の積み重ねが地球温暖化防止など環境対策にも繋がることから、本県独自の制度である学校版・地域版・家庭版・事業者版の4つの「いしかわ版環境ISO」の普及を進めてきました。

さらに、東日本大震災以降の全国的な省エネ・節電に対する関心の高まりを背景に、「いしかわ版環境ISO」の省エネ・節電に関する取組内容を充実強化した「省エネ・節電アクションプラン」など様々な取組を行ってきました。

その結果、「家庭版環境ISO」については、取り組み家庭数を平成26年度までに倍増させるという目標を1年前倒しで達成し、新たに、現在の2万4千家庭から平成32年度までに4万家庭にすることを目標に、より一層の取組を進めているところであります。

また、生物多様性の確保については、身近な自然である里山里海の利用・保全を進めるため、「いしかわ版里山づくりISO」や「いしかわ里山ポイント制度」などにより、県民、企業、NPO等の多様な主体の参画による取組を後押ししてきたところであり、今後とも、魅力あふれる本県の里山里海の利用・保全に向けた取組の裾野の拡大を図ってまいりたいと考えております。

この白書は、環境の現状や課題、平成26年度における施策の実施状況などをまとめたものです。本書が、環境に対する県民の皆様のご理解を深めていただく一助となることを願いますとともに、各種の取組について積極的なご意見、ご提言、そして、ご参画を賜れば幸いに存じます。

平成27年10月

石川県知事 谷本 正憲